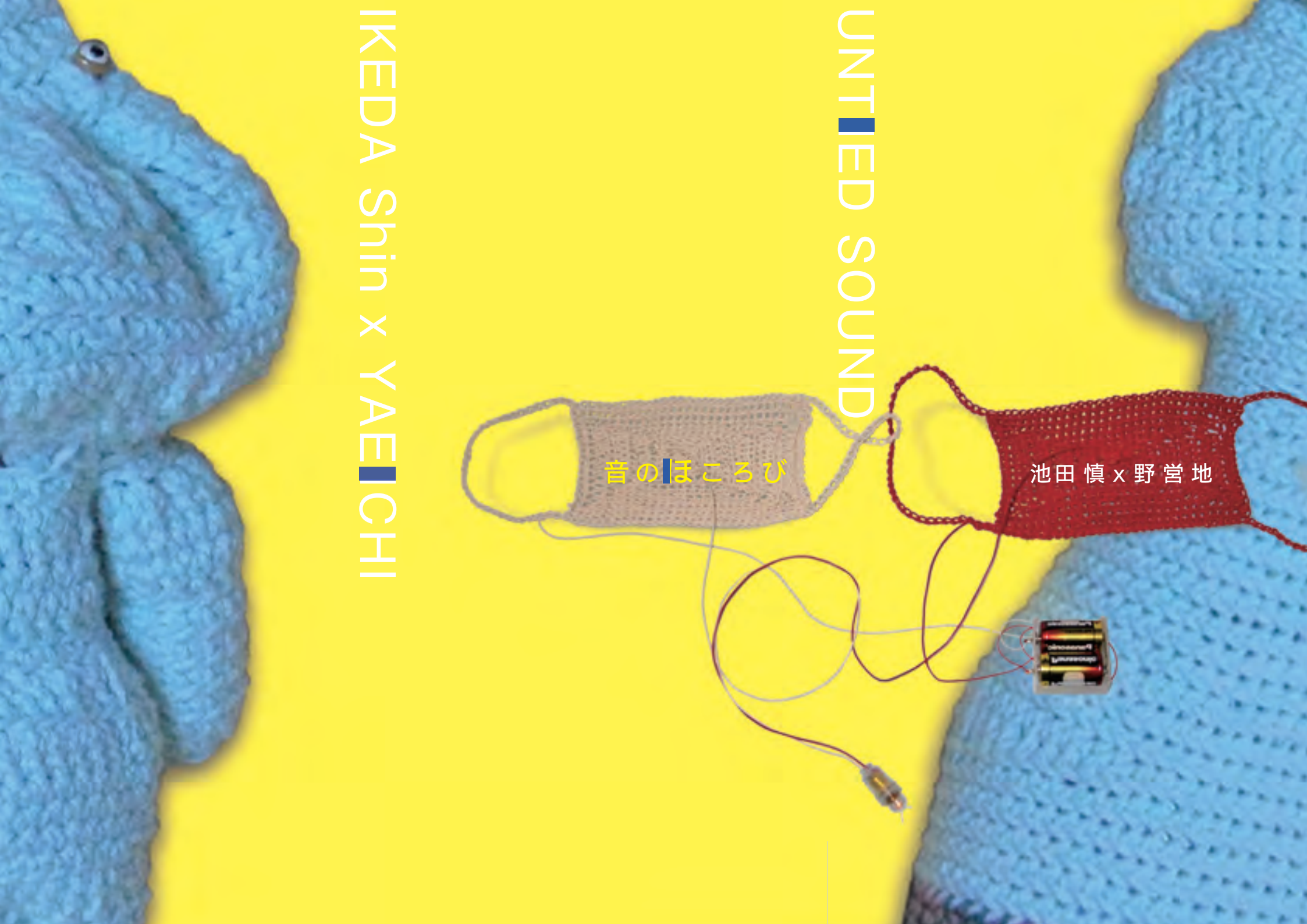


池田 慎 x 野 営 地

UNITED SOUND

音のほころび

IKEDA Shin x YAEICHI



音のほころび
UNTIED SOUND



池田 慎 x 野 営 地
IKEDA Shin x YAEICHI

5/19 (水) — 29 (土) PM12-7 (最終日PM5まで) 日・月・火曜 休廊

池田慎は、カップ麺の容器など身の回りにある日用品に刺繍をしたり、浣腸薬でシャンデリアをつくったり、用途の想定を超えた使い方で、ありふれたものに新たな属性を見出す作品をつくっています。野営地は複数人で構成され、息や声、口笛など、身体を使ったパフォーマンスを用いてアート・音楽にまたがる活動をしています。今春には「塩見允枝子 | Performances & Visual Works 2021 in Kobe」を主催しました。この2つの個性が出会うところで、何が生まれ、起こるのか？ 当事者にとっても想定外の方向に向かっている展覧会の行方は、幕を開けるまで誰にもわかりません。

+1 art カワラギ

池 田 慎
IKEDA Shin



つねづね自重で潰れたり摩耗したりで消える作品が作れないか、と考えていました。なかなか良いアイデアが浮かばず制作に至らなかったのですが、今回の作品は素材に還元するという形で、わたしの痕跡はほぼ消えそうです。音は持続し消えてゆきます。声に乗せた言葉も消えてゆきます。今、声を出し音をあげようと思います。時に不和を意味する「ほころび」には和解や笑顔の意味もあるのです。

1974 大阪生まれ 大阪在住
1998 大阪芸術大学芸術学部デザイン学科卒業

個 展

- 2020 「あしたの品々×日用品の詩学もちもち」 へその丘美術館 (大阪)
「テレストリアルポップ展」 西脇市岡之山美術館アトリエ (兵庫)
2019 「手芸の時間」 奈良・町家の芸術祭はならあと 2018 吉野町上市
六軒屋敷 (奈良)
「ふわふわガバメント トウキョウ」
noie.cc/QuantumGallery&Studio (東京)
「ふわふわガバメント オオサカ」 海月文庫 (大阪)
「アートの扉Ⅲ 池田 慎 —あしたの品々 × 日用品の詩学—」
西脇市岡之山美術館 (兵庫)

表面イメージ | 池田 慎《マスク》《編み》2021 (部分)

野 営 地
YAEICHI



倉本高弘 増野敦子 野村美貴子 高橋真理子 森すみれ

野営地は形態を持たない。常に流動している。さまざまな分野でそれぞれの専門を持つ。それぞれのベクトルは、それぞれ違う方向を志向しているように見えるが、時としてそれは一つの点のように集まる。または、向き合い、交差し、すれ違う。今回はそんな座標の中で、池田氏がどのような方向を目指すのか、また野営地はどう動くのか、今はまだ誰も知らない。

国立国際美術館「開館40周年記念展」パフォーマンスのため集まったメンバーが中心となり、ひとりではできないパフォーマンスを行うために2018年生まれた集団。現在は19名の多様な活動を行っているメンバーにより構成されている。2021年「塩見允枝子 Performances & Visual Works 2021 Kobe」開催。
<https://yaeichi.jimdofree.com/>